



口内地区は北上市の中心部から車で約15分の中山間地。人口は約1600人。高齢化率は40%を超え、現在のペースで人口減少・少子高齢化が進むと、2020年には「限界集落」となるといわれている



NPO法人くちないの事務所兼共同店「店っこくちない」は、JAが撤退した店舗を利用。筆者（左端）と、理事やスタッフはいずれも口内の住民

マイカーでの有償運送

Q & A

岩手県北上市口内地区

バスやタクシーが不便な地域では、NPOなどが自家用車を使って、地域住民を有料で送迎できる「自家用有償旅客運送」という制度がある（道路運送法第78条、2006年）。運転手は2種免許がなくても、法定講習を受ければOKだ。

口内地区は「最寄りバス停まで徒歩30分以上かかる高齢者の足を確保したい」との思いで、10年から取り組み始めた先進地。「支払いが発生するので、かえって気兼ねなく乗れる」と利用者も増加中。しかし低料金ゆえに運送業務だけでは赤字になる。運送のしくみと運営術を教えてもらった。

文・写真：NPO法人くちない事務局長・今野信男



自家用有償旅客運送とは

NPO法人の他、認可地縁団体、農協、社会福祉法人、商工会、任意団体などが運営主体となり、地区内の住民の運送を行なうもの。2種類あり、いずれも運輸支局への登録が必要。ドライバーは2種免許がなければ大臣認定講習を受講する。運送区域や行先、利用対象者、料金（営利に至らない範囲、タクシーの半額以下が目安）などの詳細は、各自治体や交通関連団体でつくる運営協議会と協議して決める。

運送は2種類

口内地区では路線バスの減数や一部路線廃止に伴い、住民からは「困った」の声が上がりました。高齢化が進めば、近い将来、自分で車を運転して病院や買い物に行けなくなる世帯が地区の4割ほどに増える――。対策を打てなくなる前に「住民でできることは住民の手で」という意識の下、「公共交通空白地有償運送（以下、町内型）」及び「福祉有償運送（以下、福祉型）」に取り組むことになりました。

Q1 どのくらいまで乗れる？

A 町内型は地区内、福祉型は市内全域の目的地まで送迎します。

「町内型」は地区内であればどこでも発着可。世帯登録（年会費1000円）をした口内地区住民であれば誰でも1回1000円で利用ができます。一番多い使われ方は、自宅・最寄りバス停間の利用で、全体の7割ほどを占めます。利用時間は路線バスの運行時刻に合わせて、平日の7時半頃から17時半頃までです。他には敬老会など地区行事への参加、お墓参り、友人宅への訪問、郵便局やATMまで等、多様に使われ、

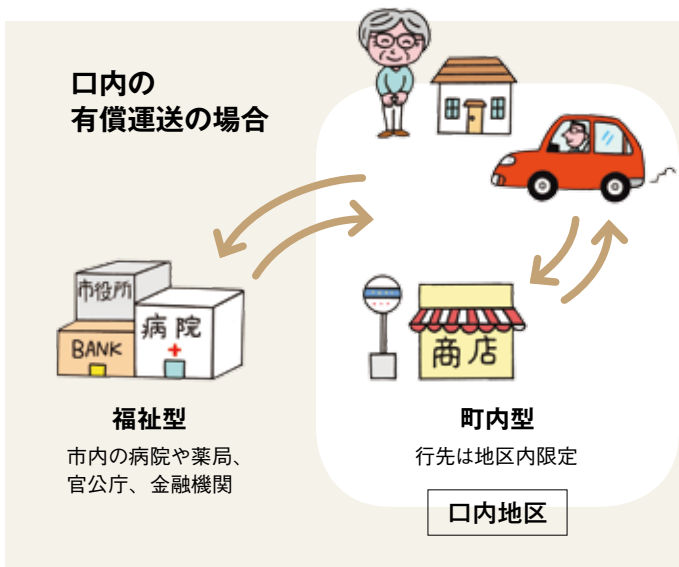
小学校の夏休みにはプールへ通う子供たちの利用もあります。

「福祉型」は市内なら地区外でも移動が可能で、行先は病院や薬局、官公庁や金融機関などにしています。料金は距離に応じて8km未満が800円、8～12km未満が1000円、12km以上が1200円です。対象者は住民かつ介護保険上の「要支援・要介護または市が同等と認める人」であり、ほとんどが自宅・病院間の移動です。「町内型」「福祉型」とも予約制。利用者の90%以上が70歳以上の高齢者となっています。

◎公共交通空白地有償運送（旧・過疎地有償運送）
地区住民が対象。地区への来訪者も市町村で認めている場合はOK。市町村あるいは地区内限定で送迎できる。乗合も可。全国で95団体が実施。

◎福祉有償運送
地区の要支援・要介護者と付添人が対象。市町村内で送迎できる。車は車イス対応の福祉車両でなくてもよい。全国で2432団体が実施。

この他、兵庫県養父市などの国家戦略特区域では、外国人観光客の輸送を目的とした「自家用有償観光旅客等運送事業」が認められるようになった（5月に可決）。タナセン（p12）の場合は無償運送なので道路運送法の規制対象外。



イラスト=河本徹朗